

研究課題名 (研究番号)	麻薬使用患者フォローアップに対するトレーシングレポートフォーマット導入の有用性の 検討 (2026-001)
当薬局の研究責任者 (所属)	山田 明日香 (日本調剤東邦大前薬局)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	日本調剤東邦大前薬局で調剤、薬剤を交付された患者さまに対して、電話によるフォローを行い、知りえた情報をトレーシングレポートの送付によって医療機関と共有しています。今回、鎮痛目的で麻薬を使用している患者様に対するトレーシングレポートフォーマットを新たに作成、導入することで、フォローアップの質が向上するのか検討を行います。
調査データ 該当期間	2025年11月、2026年2月～4月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる患者さま 　　鎮痛目的で医療用麻薬を使用されている患者さま ● 利用する情報 　　患者基本情報：年齢、性別、疾患名、等 　　治療情報：治療内容、痛みの程度、発生した副作用とその重症度、等 　　介入情報：提案内容、等
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は研修会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間：2026年4月30日まで

研究課題名 (研究番号)	麻薬使用患者フォローアップに対するトレーシングレポートフォーマット導入の有用性の検討 (2026-001)
当薬局の研究責任者 (所属)	杉山 和美 (日本調剤大森日赤前薬局)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	日本調剤大森日赤前薬局で調剤、薬剤を交付された患者さまに対して、電話によるフォローを行い、知りえた情報をトレーシングレポートの送付によって医療機関と共有しています。今回、鎮痛目的で麻薬を使用している患者様に対するトレーシングレポートフォーマットを新たに作成、導入することで、フォローアップの質が向上するのか検討を行います。
調査データ 該当期間	2025年11月、2026年2月～4月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる患者さま 鎮痛目的で医療用麻薬を使用されている患者さま ● 利用する情報 患者基本情報：年齢、性別、疾患名、等 治療情報：治療内容、痛みの程度、発生した副作用とその重症度、等 介入情報：提案内容、等
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は研修会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間：2026年4月30日まで

研究課題名 (研究番号)	麻薬使用患者フォローアップに対するトレーシングレポートフォーマット導入の有用性の検討 (2026-001)
当薬局の研究責任者 (所属)	高田 幸基 (日本調剤大森薬局)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	日本調剤大森薬局で調剤、薬剤を交付された患者さまに対して、電話によるフォローを行い、知りえた情報をトレーシングレポートの送付によって医療機関と共有しています。今回、鎮痛目的で麻薬を使用している患者様に対するトレーシングレポートフォーマットを新たに作成、導入することで、フォローアップの質が向上するのか検討を行います。
調査データ 該当期間	2025年11月、2026年2月～4月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる患者さま 鎮痛目的で医療用麻薬を使用されている患者さま ● 利用する情報 患者基本情報：年齢、性別、疾患名、等 治療情報：治療内容、痛みの程度、発生した副作用とその重症度、等 介入情報：提案内容、等
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は研修会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間：2026年4月30日まで

研究課題名 (研究番号)	麻薬使用患者フォローアップに対するトレーシングレポートフォーマット導入の有用性の検討 (2026-001)
当薬局の研究責任者 (所属)	本多 輝子 (日本調剤大森南薬局)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	日本調剤大森南薬局で調剤、薬剤を交付された患者さまに対して、電話によるフォローを行い、知りえた情報をトレーシングレポートの送付によって医療機関と共有しています。今回、鎮痛目的で麻薬を使用している患者様に対するトレーシングレポートフォーマットを新たに作成、導入することで、フォローアップの質が向上するのか検討を行います。
調査データ 該当期間	2025年11月、2026年2月～4月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる患者さま 鎮痛目的で医療用麻薬を使用されている患者さま ● 利用する情報 患者基本情報：年齢、性別、疾患名、等 治療情報：治療内容、痛みの程度、発生した副作用とその重症度、等 介入情報：提案内容、等
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は研修会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間：2026年4月30日まで